

「ビックリさせないでよ」

山菜採りの遭難事故防止



これから山菜採りのシーズンを迎えるが、今年の山は春の訪れが遅く、残雪による雪崩や雪解け水での渓流の増水など、気を付けなければならぬことがたくさんあります。慣れた山でも一人で入らず、目先の収穫より安全を第一に考えて行動してください。

【遭難事故防止の心得】

■ 装備は万全に

山の天候は突然変わります。食料、雨具、着替え、ライターなどを必ず持てておいてください。入山した場所がわからなければ、早期捜索・救助ができません。

■ 入山場所を告げて

入山場所や帰宅時間を家族などへ必ず伝えておいてください。入山した場所がわからなければ、早期捜索・

■ 単独行動はしないで

必ずグループで入山し、お互いに声掛け合い、位置を確認しながら行動してください。

■ クマに注意

山菜採りシーズンは、クマが冬眠から覚め、餌を求めて活動する時期と重なります。ラジオや笛、鈴などを鳴らして、クマと出遭わないよう注意してください。

もし遭難したら
無闇に歩き回らず、体力を保存しながら、搜索隊へ自分の位置を知らせる方法を考えてください。
(例・火をたいて煙を上げるなど)

広報おおだて 平成6年5月1日号(No.604)

発行／大館市 〒017 秋田県大館市字中城20

☎ 0186-49-3111

編集／総務部総務課広報広聴係(内線258)



広報おおだては再生紙を使用しています。